

# なぐや通信

第三十九号平成二十四年十一月  
日本会議 名古屋支部 事務局  
052-1763-4588

## 報告・春日井支部講演会

去る九月二十二日、勝川駅前ルネックに於いて春日井支部主催としては二回目となる講演会が開催された。この日は、日本青年協議会中央書記長の大葉勢清英氏を講師にお招きし、同氏より「ミャンマーにおける中国の経済侵略の実態」と題してご講話を頂いた。ミャンマーといふ国について、同国の軍事政権に対する民主化運動を続けてきたアウンサンスーチー女史が近年漸く自宅軟禁を解かれ政治活動を再開したことなどはマスコミ報道によつてよく知られてゐるところであるが、それ以外のこととなると殆ど知られてゐないといふのが現状ではないだらうか。そんな中、実際に現地へ赴かれて、特にその経済的な現状をつぶさに視察したご経験に基づく大葉勢氏のお話は大いにリアルティーを以つて我々の耳に響いた。講演では、表題にもあるとほりミャンマーに於ける支那による経済的「実効支配」が着々と進められてゐるといふ実態が明らかにされた。すなはち、同国におけるパイプラインや高速鉄道、高速道路、或いは水力発電用ダムなど、いはば国家の「戦略基盤」ともいふべき重要な施設の建設が支那主導のもとで進められ、同国が支那にとつての「戦略拠点」にもされかねない状況下にあるといふのである。また、それだけではなく、法的には外国人による土地取得が禁止されてゐる同国に於いて、国籍を偽装したり二重国籍を取得した支那人によつて土地が買い漁られてゐるといふ恐るべき事実も報告された。この事実は、名城地区に於ける支那による総領事館用土地買収計画の問題を抱へる我々愛知県民にとつても決して他人事として見過ごしてよい問題ではない。戦後、日本は安全保障問題を巡つては日米安保条約のもと、一貫して対米依存に終始してきた。しかし、日米双方の国益が何から何まで一致するといふことはあり得ず、ましてや集団的自衛権を放棄した現政権下の我が国に対し、いざといふとき米国が本当に我が国を助けてくれるといふ保証は何処にもないのである。翻つて東南アジア諸国を見ると、フィリピンやベトナム、そしてミャンマーなど、我が国に對する国民感情も良好で、そして何よりも「対支那問題」といふ点に於いては我が国と利害が一致する国が多く存在するのである。今回の大葉勢氏の講演を拝聴し、我が国はこれまでの対米偏重外交を改め、東南アジアの

これら諸国との戦略的連携を模索すべき時に来てゐるといふことを改めて痛感した次第である。このやうな貴重なご講話を頂いた大葉勢氏に改めて感謝を申し上げます。(仮名遣い、原文のまま、掲載)

文責・春日井支部 事務局長 堀晃司

## 安倍晋三自民党総裁誕生に期待する!

ついに私たちの願いが天に届いた。去る九月二十六日、自民党総裁選挙で安倍氏は決戦投票の末、逆転勝利したのである。この瞬間、心ある多くの国民は快哉を叫んだに違いない。遡る4月2日の安倍晋三氏・青山繁晴氏大講演会を回想し、心の底から喜びが沸いてくるのだ。この企画で本当に良かった。私たちの構想がいよいよ実現しつつあるのだと。本年は「真正保守政権を構想する」とのテーマで連続フォーラムを開催してきた。それは、来るべき解散総選挙にあつて、私たちができることは、一体何だろうか?とやう問題意識からであつた。それは、民主党が政権の座から降りる可能性と、自民党が政権に返り咲く可能性に鑑み、この国難から日本を救ふことは、旧来の保守政党ではできない。戦後の総決算をしなければ、もう日本は救われないと確信するに至つた。「真正保守」とはすなわち、戦後の総決算であり、安倍氏が説かれるところの「戦後レジームからの脱却」である。長きにわたつた戦後日本の悪しき体制からいち早く脱け出し、誇りある日本の伝統精神に基づいた新たな国づくりを、今こそ始めなければならぬ。次の総選挙に向けて、私たちはそれぞれの候補者に「真正保守」の息吹を送り届けることである。安倍政権樹立のために、「真正保守」の旗の下に全ての議員を総結集させて行くことである。さすれば、憲法改正はいよいよ政治日程にあがつて来る。

文責・日本会議愛知県本部 事務局長 服部守孝

## ●愛知県護国神社清掃奉仕予定 毎月の第一日曜です

次回は、十一月四日午前八時開始の九時終了です。以降十二月二日、翌年一月六日を予定しております。軍手は必要です。また、小雨なら社屋の木枠拭き掃除しますので雑巾を持参下さい。大雨は中止になります。疑わしい天気の場合には、現場責任者の南部宛、お電話ください。(〇九〇―二七七三―〇六八八)。落葉の季節を迎え掃ききれないほどの落ち葉で境内は溢れています。加勢お待ちしております。

●「日本の息吹」をいよいよ購読下さり、誠にありがとうございます。引き続き「継続下さいますようお願いいたします。」